

令和 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	白馬の生業「継続・継承」プロジェクト 第2弾「山城の村 白馬」を里山観光の目玉に！
事業主体 (連絡先)	白馬お宿倶楽部 北安曇郡白馬村北城2233-1番地
事業区分	地域協働の推進
事業タイプ	ソフト
総事業費	465,110円 (うち支援金: 353,000円)

事業内容

令和4年度に取り組んだ「白馬お宝歴史講座」の「白馬の山城」で学んだ、「未確認のものまで含めると白馬村には山城がおそらく30ほどある」、という歴史背景を前面に押し出し、「山城の村 白馬」をグリーン期の里山観光の目玉としてアピールする。「山城マップ」作成し、そこから詳細へと飛べるブログをも作成する。山城の存在の周知と歴史背景をここにに住む住民だけでなく、海外のお客様にも広め興味を持ってもらい、息の長い観光地を目指す。



【目的や趣旨に沿い急遽作成した英語版】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①これだけ多くの観光客を迎えながら、スキーや山岳に関する歴史は語られているものの、戦国時代といった古い歴史はほぼ未開拓の領域。移住してきた住民や学生からは「知らなかった」、「ぜひ行ってみたい」と前向きな評価を得ている。未だかつて歴史にこれだけフォーカスしてなにかやろうという動きは無かったため、地元民に対しても学生と同程度の感度で感性に沁みる学びがあり、まだ誰も掘り出したことの無い大きな可能性のある鉱脈の一端を掘り起こした感がある。
- ②海外の人の方がより一層「へえ!」と思える物語、コンテンツが詰まっている。これまで当地を訪れていた日本人のリピーターには白馬の違った側面を提供でき、また英語版も作成したので海外のお客様に対しても幅広くアピールできる。
- ③「山城マップ」には最小限の情報を盛り込み、変更なしで増刷できる。その分ブログのコンテンツを充実させ、変化に対応できるようになっている。

【目標・ねらい】

- ① 地元の歴史を知ること、地元愛を育む
- ② 唯一無二の観光地であるために歴史背景をアピールする
- ③ 「山城マップ」とブログをセットにし、作ったら終わりではなく、息が長く、アクセスも良いものにする

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・印刷に掛ける前に英語版を作る判断をし、内容的にもいいものができた。
- ・地元紙を通して幅広く周知する予定をしていたが、計画より遅れてしまい、時間がなくてできなかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

ブログの英語版の作成に加え、頂いた「山城への経路を地図に載せたらどうか」との提案を今後ブログに反映、実際にアクセスした人の感想等も投稿できるようにする。令和4年度のお宝歴史講座のレジメをこのブログから飛べるようにする。お宿倶楽部でツアーの計画、白馬高校とタイアップして「山城マップ」を利用した山城散策・山城ガイド養成等につながる活動の推進。教育関係者からの好意的な意見を踏まえ、小学校・中学校にもこの地図とブログを使った「地域の歴史授業」「白馬山城検定」などを企画し、子どもたちを巻き込んでいく。大糸線車内に山城のポスター広告を出し、山城に向かう下車駅を示すなど、大糸線の活性化にもつなげる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある